

講義名: 博物館概論 <秋> 曜日1: 木5 担当教員名: 井上 敏		ナンバリングコード: MUSE1400 曜日2:					
研究室: 聖アンデレ館8階822号室		オフィスアワー: 事前にメールで連絡をして調整してください。基本的に月曜、水曜、木曜となります。		メールアドレス: s-inoue@andrew.ac.jp			
授業形態							
『講義』							
講義・演習概要							
本講義は博物館に関する基本知識、日本および諸外国の博物館の歴史と現状について講義し、博物館や学芸員の基本的な事柄について理解を図る。							
学習(到達)目標							
博物館に関する基礎的知識を理解し、学芸員としての専門性の基礎となる能力を養う。							
講義・演習計画							
【第1回】 博物館入門(1)ー博物館の定義、目的、機能、分類							
【第2回】 博物館入門(2)ー博物館・文化財の専門職・学芸員							
【第3回】 博物館の歴史(1)							
【第4回】 博物館の歴史(2)							
【第5回】 博物館の歴史(3)							
【第6回】 日本の文化財保護制度とその歴史(1)							
【第7回】 日本の文化財保護制度とその歴史(2)							
【第8回】 近代化遺産ー産業・交通・土木の遺産ー							
【第9回】 エコミュージアム							
【第10回】 地域社会と博物館ー世界遺産ー							
【第11回】 文化財保護と国際条約(1)							
【第12回】 文化財保護と国際条約(2)							
【第13回】 生涯学習と博物館							
【第14回】 チルドレンミュージアム							
【第15回】 まとめー現在の博物館制度が抱えている問題ー							
成績評価の方法							
試験		レポート	70%	その他	30%		
コメント	博物館や学芸員の基本的な事柄を講義するので、毎回の講義を復習して理解すること。 成績評価については遠隔授業になった場合、①M-portでの講義の中で小課題を課します。メール等での提出とします(30%)。対面授業の場合、今後の授業運用に向けて学生の進捗状況や理解度を把握する目的でコメント欄を設けた出席カードの提出を3回求めます。理解度やこの内容に応じた点数を30点とします。(30パーセント)②最終レポートは第15回の講義終了後にメール等で提出とします(70%)。①と②を合わせて100%(100点満点)で評価します。						
テキスト							
著書	浜田弘明	タイトル	博物館の理論と教育				
ISBN	978-4-254-10567-4 C3040	出版社	朝倉書店				
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考					
著書		タイトル					
ISBN		出版社					
教科書購入区分	選択なし	備考					
著書		タイトル					
ISBN		出版社					
教科書購入区分	選択なし	備考					
参考文献							
講義内で指示する。							
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)							
博物館に行った経験が少ない学生が多すぎるので、各自で博物館を色々な形で見ておいてほしい。							
その他備考(担当教員用)							
キーワード							
学芸員	博物館の歴史	近代化遺産	エコミュージアム	地域博物館	文化財の国際条約	世界遺産	生涯学習
備考(管理者用)							